

2030あらし有明 優都戦略事業

花にあふれる町並みで、おもてなししよう

～東屋形で花のある町並みづくり事業～

11月27日(土)、宮内交差点から東へ約1.8キロメートルの区間(通称「グリーンアヴェニュー通り」)で、2030あらし有明優都戦略花のある町並みづくり事業が行われました。秋晴れの中、約60人が参加し、パンジーやスノーポールなど千800株の花の苗を植えました。

グリーンアヴェニュー通りは、グリーンランドなどのレジャー施設へ繋がる道路で多くの観光客が通ります。参加者は花々で観光客をお迎えしようと、1株ずつ丁寧に植えていきました。

次回の花植えは、5月頃に行われる予定です。



◀花植えには子どもたちも参加しました。みんなでわきあいあいと、協力して植えました。

ものづくりやゲーム体験で「環境」を学ぶ

～環境フェスタ 2010～

11月28日(日)、あらし有明で行われました。会場には多数の来場者が訪れ、賑わいました。

951点の応募作品から選ばれた環境標語表彰式と優秀作品展示、有明高専協力による環境講演会・ロボットのデモ運転、巣箱づくり、環境ボードゲーム、野鳥写真展示、ダンボールコンポスト相談会などが行われ、参加者はさまざまな催しに参加しながら、環境について学びました。

なお、標語大賞作品は、来年度のごみ・リサイクルカレンダーや環境保全課の車に掲げ、環境啓発に活用されます。



◀有明高専の学生と一緒に「ボンボン船」づくりを体験。作った後は実際に水に浮かべ、走らせました。

地域の「歴史遺産」を巡るウォーキング

～第5回平井校区史跡探訪ウォーキング～

11月28日(日)、平井校区一帯で平井校区史跡探訪ウォーキングが開催され、大人から子どもまで、約110人が参加しました。

この催しは平井校区社会教育連絡協議会(社教連)が主催し、平井校区元気づくり委員会が協賛して開催されていて、今年で5回目。金屋天満宮や岩本橋など、地域にある史跡を巡りながら歩き、クイズや講話を通して由来などを学びました。

参加者は、昔から生活に深く結び付いていた史跡を楽しく巡ることで、住んでいる地域に改めて愛着を感じていました。



◀自分の住む地域の史跡に、興味津々。竜宮堂の祠を熱心に見学しています。

育てよう 一人ひとりの 人権意識

～'10 荒尾市人権フェスティバル～

12月4日(土)、文化センターで'10荒尾市人権フェスティバルが開催されました。

10回目を迎えた今回の人権フェスティバルでは、桜ゆりかご会と手話ダンスひびきによるアトラクション、荒尾第三小学校、有明小学校、荒尾高校の児童・生徒による意見発表、俳優の常田富士男さんの朗読を交えた講演、ギャラリイなどでの人権についての作品展が行われました。

発表者や出品者が日常で感じている人権意識に触れることで、改めて自らを振り返り、人権について考える一日となりました。



1 講師の常田富士男さん。優しい語り口に参加者もうっとり。2 有明小学校の児童による意見発表

夢は持つもの、目標はつかむもの

～四中出身の梅崎英毅さんによる教育講演会～

12月5日(日)、荒尾第四中学校で、生徒と保護者を対象に、教育講演会が行われました。講師の梅崎英毅さんは、山梨学院大学准教授で、同大学の女子バスケットボール部監督です。また、日本女子バスケットボールナショナルチームのアシスタントコーチも勤めています。かつてコーチとしてアテネオリンピックを経験した梅崎さんは、四中時代に始めたバスケットボールで世界の舞台で活躍しています。

実体験から語られる「夢を持ち、仲間を大切に。そして日々感謝を忘れずに」という講話に、参加者は熱心に耳を傾けました。



▲次の目標は、日本女子ナショナルチームと、ロンドンオリンピックに行くこと！と力強く語る梅崎さん

少年少女発明クラブ

～荒尾市少年少女発明クラブ、全国大会出場～

12月6日(月)、荒尾少年少女発明クラブの指導者とメンバーが市長を訪れ、第1回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会(11月27日)に出場したことを、平成22年度九州地方発明表彰式(11月30日)で、同クラブ企画運営委員長の池田雄二さん(旭製作所代表取締役会長)が奨励功労賞を受賞したことを報告しました。

全国大会に出場した荒尾海陽中学校三年生の中村優介さんと、前畑匠さん、一年生の横山悠人さんは、県代表として貴重な経験を積んだことを、実演を交えて市長に報告しました。



▲県内唯一の発明クラブとして、活発に活動が続けるみなさん。